

沿線風景



高角神社

高見山の山上に祭られている「高角神社」は、神武天皇東征のおり、そのガイドを助めたという「八咫鳥建角命」を祭り、古くより地元の人たちから尊崇されている。

コース全体の所要時間

約2時間

起点までの最寄駅と所要時間

三重交通バス「松阪」駅から「舟戸川」1時間50分下車「高見山」まで徒歩3時間10分

コース全体の距離

4km

終点から最寄駅までの所要時間

奈良交通バス「高見登山口」から「大和上市」駅(新子乗換) 1時間35分

コースガイド

高見峠は大峠ともいい、ここから高見山へ登る道は、最短コースとなる。峠を横断する車道は、車の通行量は少ない。峠には、乗用車20台程度駐車できるスペースがある。

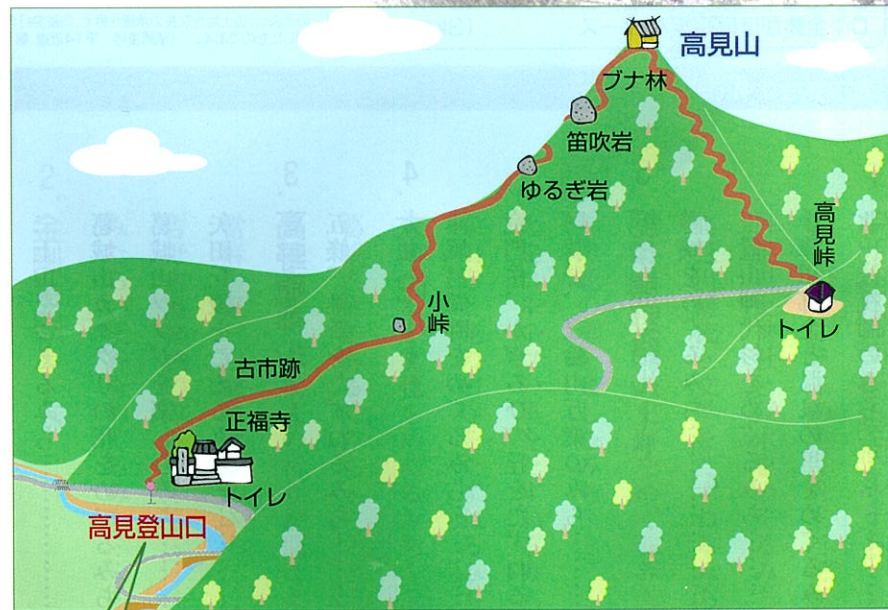
高見山は、台高山脈の北端に位置し、山頂の標高は1248メートル。西側の木津峠から見ると美しい円錐形で、「関西のマッターホルン」という人もある。山頂のブナ林は、冬にはみごとな霧氷がつく。山頂には高角神社と、避難小屋を兼ねた展望台がある。

高見山から小峠に下る途中には、点々と露岩があり、笛吹岩・ゆるぎ岩・息子岩・国見と名前がつけられていく。と展望が良い。

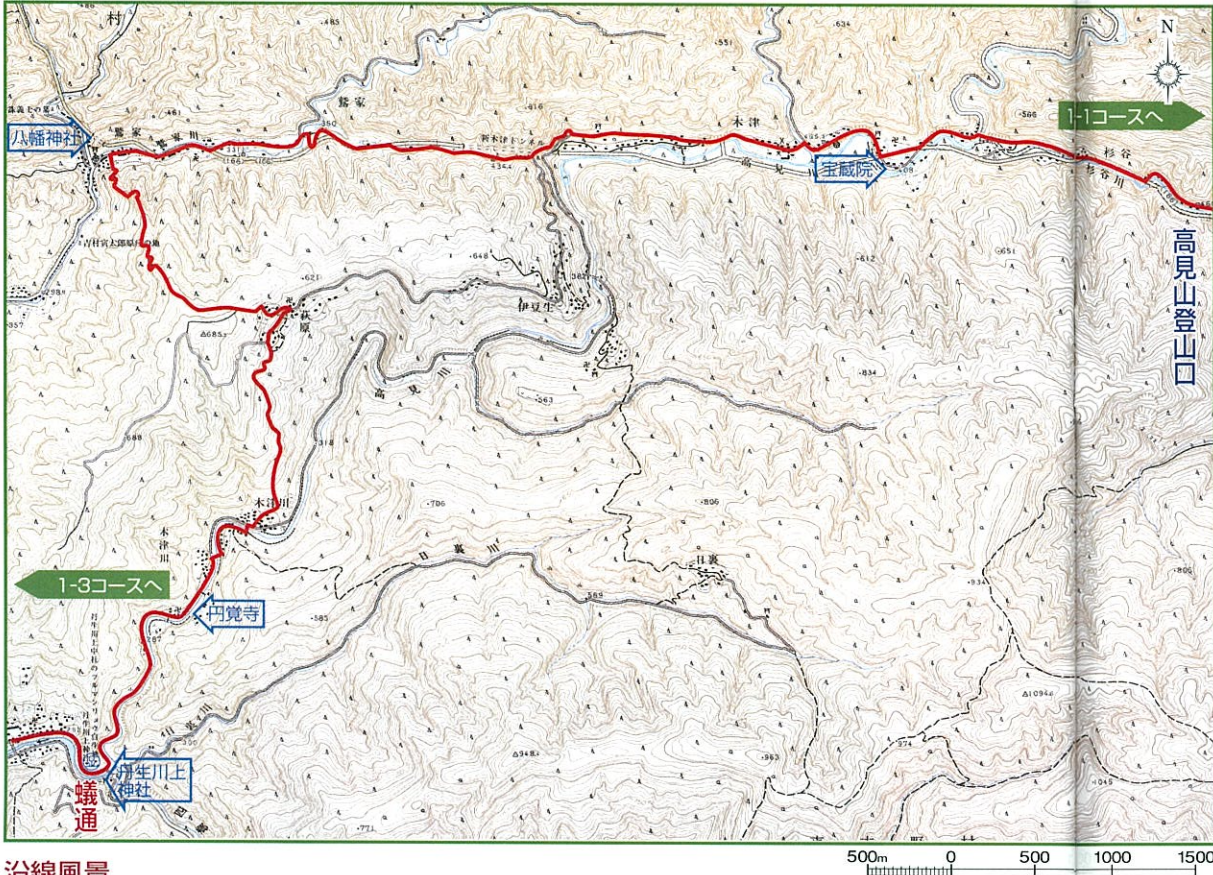
沿線風景

高見山をこえるみち

台高山脈の北の代表、ピラミッド形の秀麗な山容をもつ高見山に登るコース。三重県飯高町から県境高見峠に至り、峠からは県境沿いに徐々に高さを上げながら、灌木林の中をジグザグに登ってゆく。途中、林が切れて南に展望の開けるところがある。高見山の山頂は、台高山脈を始め、重畳たる大和の山々の展望を楽しめる。下りは、ブナ林の中に点在する名物の岩々をたどりながら、次第にヒノキ林の中へと下ってゆく。



●印はバス停



沿線風景



**丹生川上神社**  
 創建は天武天皇白鳳4年(675)祭神は「罔象女神」といい、水の神として古くより尊崇されている。

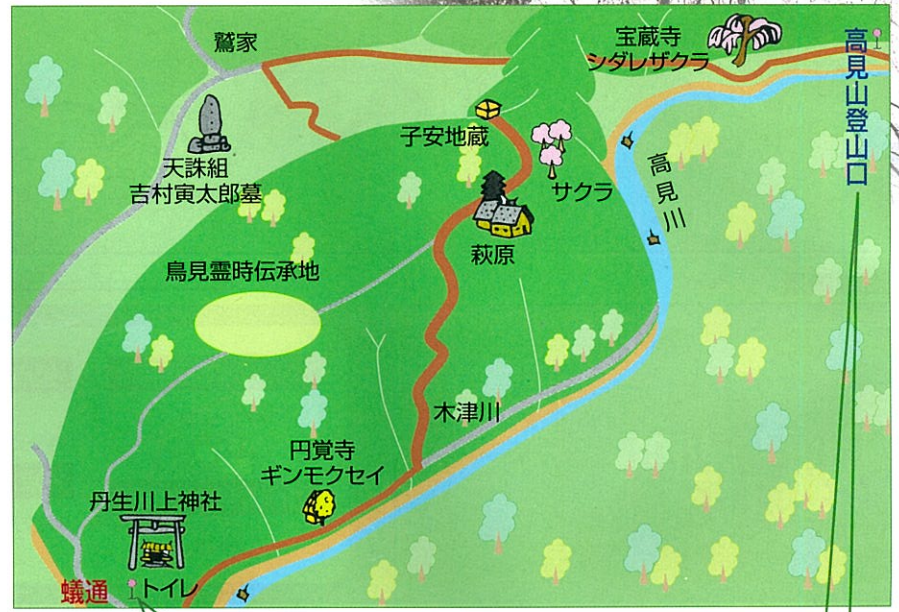
<b>奈良県コースの所要時間</b>	約6時間	<b>起点までの最寄駅と所要時間</b>	奈良交通バス「大和上市駅」から「高見登山口」バス停まで1時間35分
<b>奈良県コースの距離</b>	12.2km	<b>終点</b>	奈良交通バス「蟻通」バス停から「大和上市」駅まで(新子乗換)55分

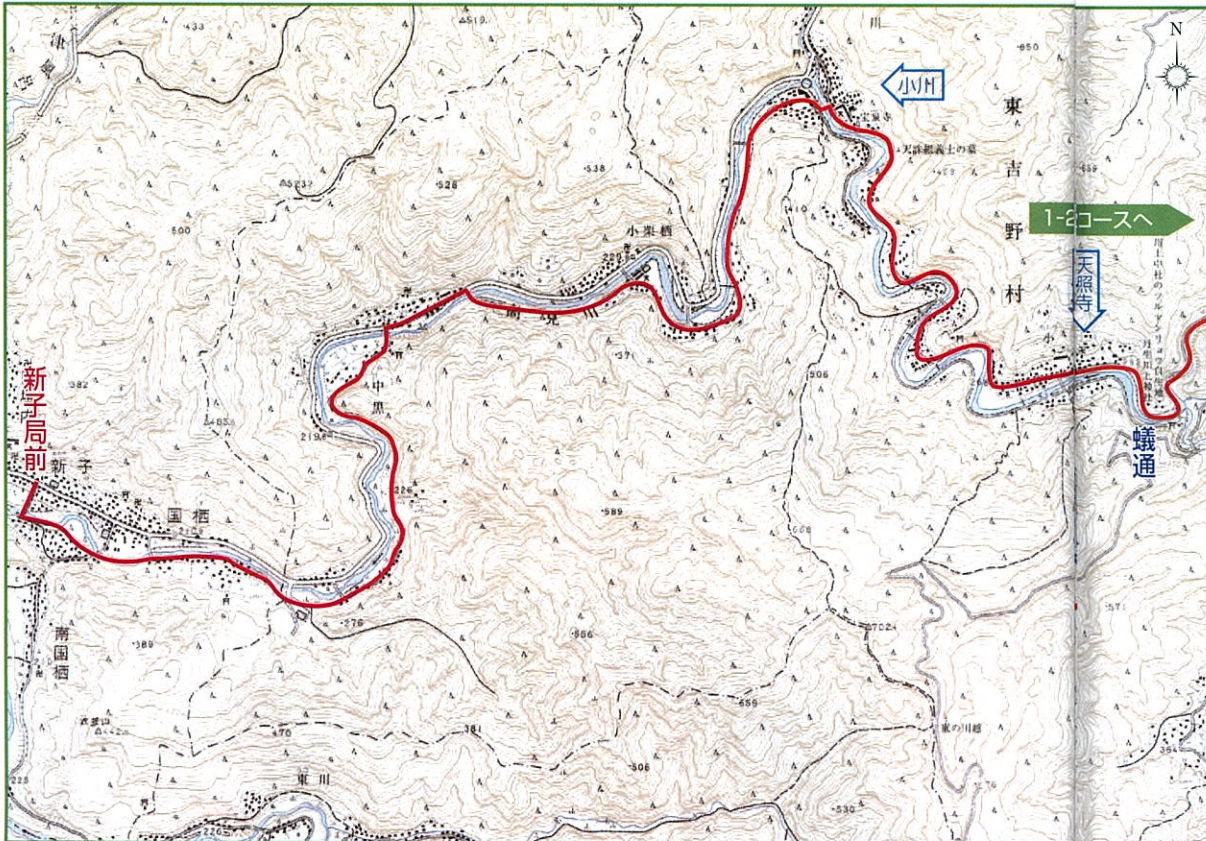
コースガイド

- このあたりの高見川は、道路のすぐそばを流れており、道から川に下りられるところが多い。
- 木津の宝蔵寺にあるシダレザクラの古木は村の天然記念物。
- 鷺家の集落は、吉村寅太郎天誅組志士たちの終焉の地。鷺家川の岸にはかれらの墓があり、地元の人たちに守られている。
- 萩原の八王子神社旧参道には、すごいサクラの古木がある。
- 木津川の円覚寺には、ギンモクセイの古木(県天然記念物)。
- 丹生川上神社は江戸末期の建築だが、神像は平安初期の女神像。歴史的にはいろいろ興味深いものを持っている。
- 萩原から南西へ尾根筋をたどると、神武天皇神話に出てくる鳥見の霊時伝承地があり、公園化されている。

**沿線風景**  
 高見川筋から地蔵峠をこえて丹生川上神社を訪ねるコース。高見川沿いの杉谷・木津・木津峠を西へこえた鷺家の集落は、いずれも江戸時代に紀州徳川家が参勤交代で江戸へ出る伊勢街道であった。このあたりの山の斜面は吉野杉の良材を産し、杉林が並んでいる。鷺家からも杉林の中の道を登ると、尾根筋の東面8合目あたりに萩原の集落がある。ここからの高見山のながめも美しい。木津川は、深く刻みこまれた高見川の谷底にできた集落。ここから丹生川上神社(中社(なかしや)までは、高見川の渓流に沿った道をたどる。丹生川上神社は、この高見川に日裏川と四郷川が合流する蟻通という地点にあり、背後に深い森林をもった風格のある神社である。

**丹生川上神社と巨木をめぐるみち**





沿線風景



ニホンオオカミの像(小川)

明治38年(1905年)東吉野村において捕まされた若雄のニホンオオカミが最後の捕獲の記録となった。

奈良県コースの所要時間

約3時間20分

起点までの最寄駅と所要時間

奈良交通バス近鉄吉野線「大和上市」駅から55分  
(新子乗換)「蟻通」バス停まで

奈良県コースの距離

10km

終点

奈良交通バス「新子局前」バス停から近鉄吉野線「大和上市」駅まで35分

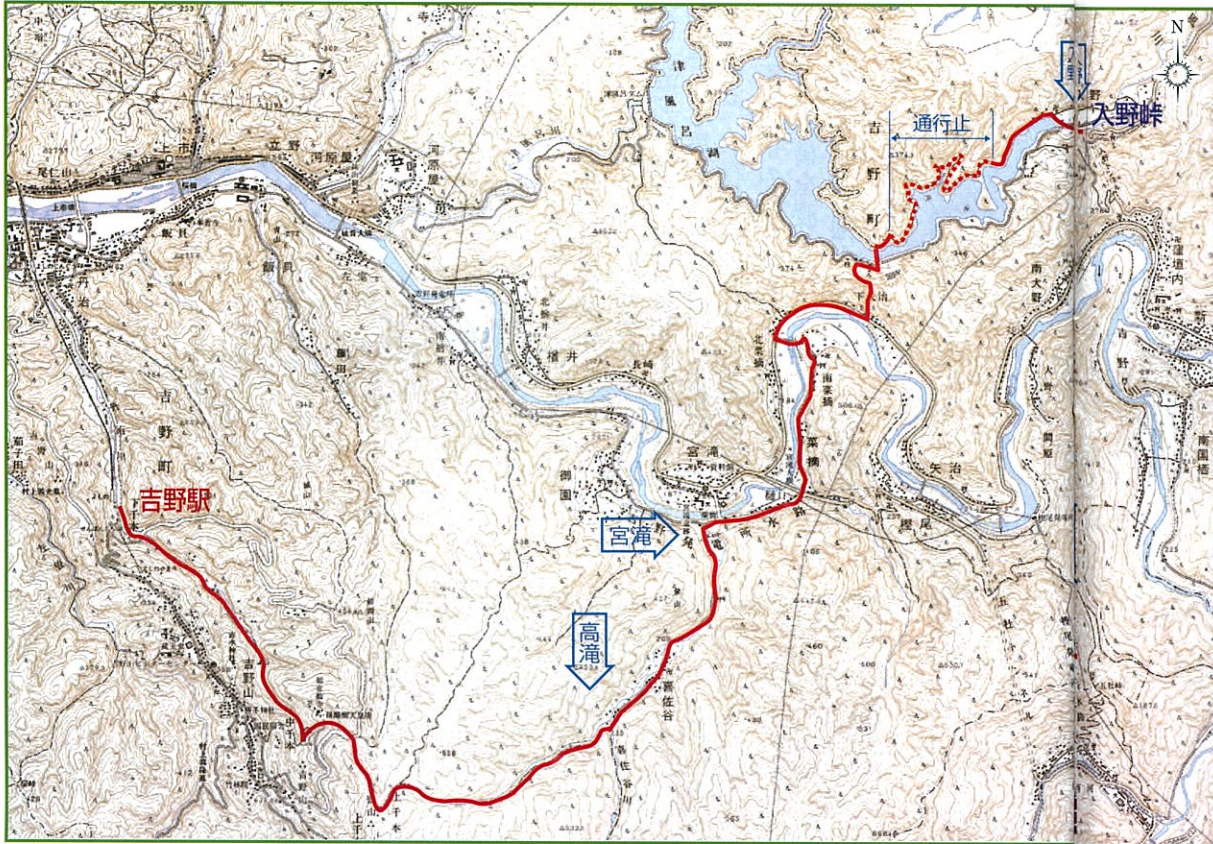
コースガイド

- 小の天照寺薬師堂は16世紀の建。釘を使わない合掌造りで、能舞台型になっている。
- 石鼎庵は、大正初期の俳人原石鼎の当時の生活を偲ばせる展示を行い、俳句の資料館になっている。
- 天誅義士の墓は、高見川右岸の山腹にある。石鼎の句碑も。
- 小川にある宝泉寺は、天誅義士の菩提所。
- 明治38年(1905年)東吉野村で捕えられたわが国最後のニホンオオカミの像が、対岸に設置されている。
- 小栗栖の福寿院には、石造十三重塔や五輪塔群がある。ともに南北朝時代の様式を示している。
- 東禅寺の木造薬師如来立像は鎌倉時代のもの。
- 中黒の興禅寺の薬師如来座像は平安中期の作品で重文指定。

高見川沿いに、丹生川上神社中社から新子まで、数々の集落をつなぐ平坦なコース。小は、高見川右岸の山裾の南向き斜面に発達した集落で、天照寺薬師堂や原石鼎庵等興味深い建築物が建っており、川沿いには数多くの句碑が点在している。小川は、鶯家川が高見川に合流する地点で、東吉野村役場のあるこの村の中心地。周辺には、維新の魁に散った天誅組志士たちの遺跡が点在する。小栗栖には福寿院や東禅寺、中黒には興禅寺といった寺院があつて、数々の文化財を蔵している。吉野町国栖に至ると、川幅が広がり集落も大きくなる。国栖は伝統的な和紙漉きの里として知られている。

沿線風景





沿線風景



**如意輪寺**  
創建は901~22(延喜年間)年と伝えられています。1336(延元元年、後醍醐天皇の勅願寺とされた寺。

<b>奈良県コースの所要時間</b>	約5時間40分	<b>起点までの最寄駅と所要時間</b>	公共交通手段なし
<b>奈良県コースの距離</b>	11.2km	<b>終点から最寄駅までの所要時間</b>	近畿日本鉄道 吉野線 「吉野駅」

コースガイド

津風呂湖は、昭和38年に完成した灌漑用ダム。サクラや紅葉が楽しめる。冬を除き遊覧船も出る。

宮滝は、天武・持統天皇がたびたび訪れた吉野宮のあった有力な候補地として知られるが、縄文・弥生時代の遺物も出土している。菜摘・喜佐谷等付近の風景も、万葉集に数多くうたわれている。

如意輪寺は、後醍醐天皇の勅願寺とされた寺。裏山には、後醍醐天皇の御陵も築かれている。

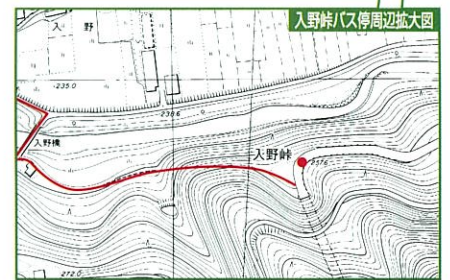
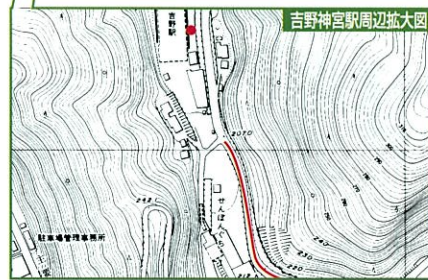
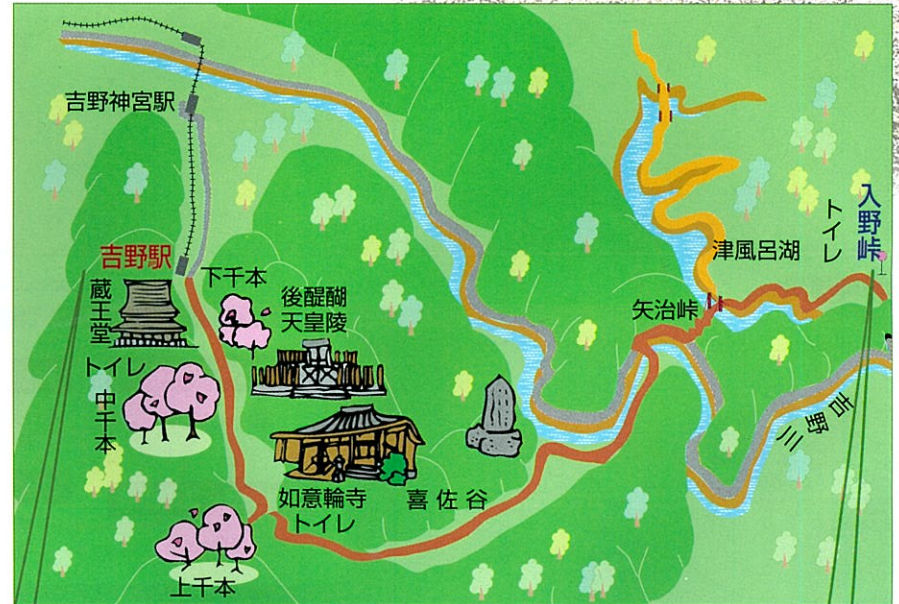
吉野山のサクラは、を主に約3万本。4千本・中千本・上千に約1ヵ月近くかか歴史の舞台には、天皇・太閤秀吉ら頃もよい。

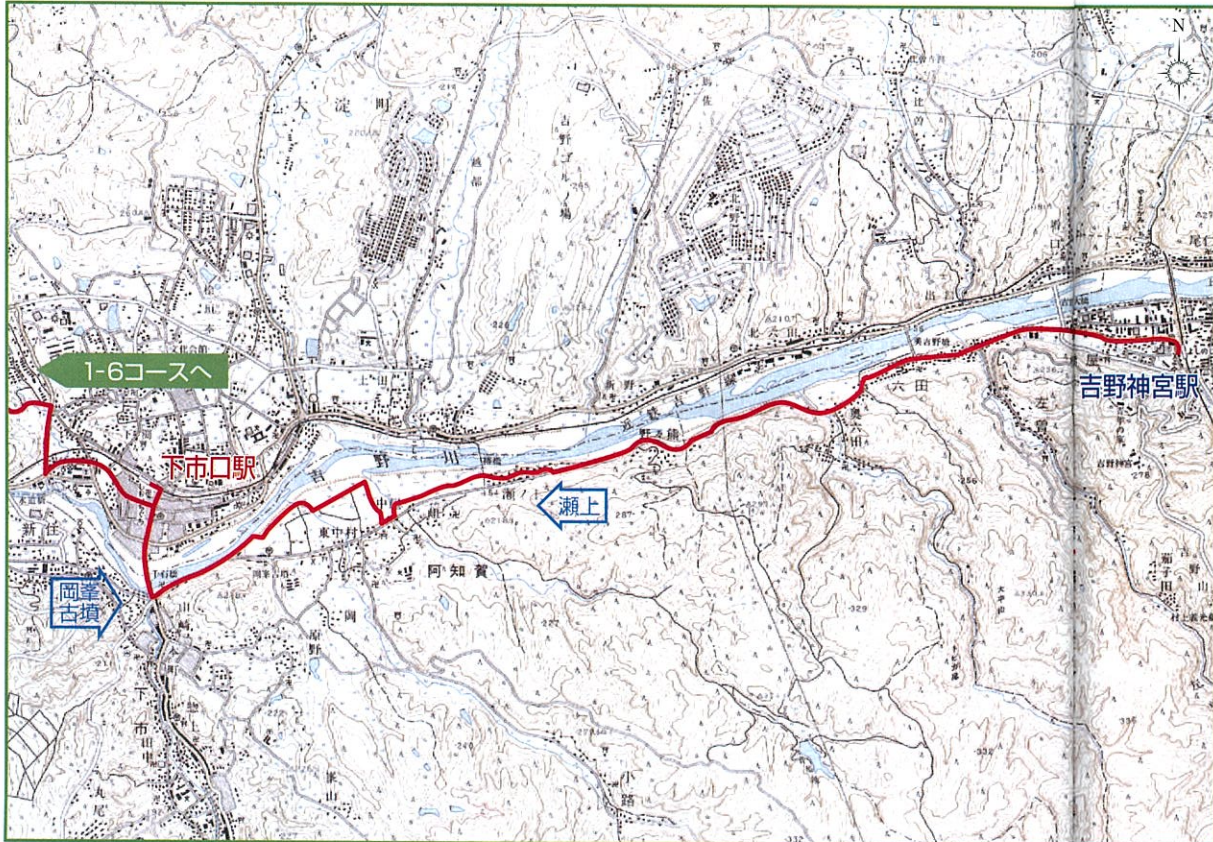
シロヤマザクラ月に入ると、下本・奥千本の順って咲いてゆく。源義経・後醍醐が登場。紅葉の

吉野山・宮滝の史跡をめぐるみち

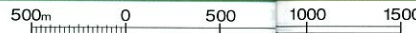
沿線風景

県立吉野川津風呂自然公園沿いコースの中では、1日のうちに次々と風景が変化するバラエティーに富んだコース。最初は、入野峠から矢治峠まで、津風呂湖の水景を楽しむ。矢治峠を越えると、転じて吉野川の河川風景となり、とくに宮滝付近は、川幅が狭まり巨岩を深くうがって水が流れ、美しい。喜佐谷は、杉林にかこまれた静かな谷間で、万葉の昔から「象の小川」と呼ばれた清冽な水の流れは今も変わらない。吉野山は、上千本・中千本・下千本と称せられるサクラの名所で林の中を通る。沿線には如意輪寺・吉水神社・蔵王堂等神社仏閣が多い。最後は、温泉谷のささやきの小径を歩き、花木や草花等四季の変化を楽しみながら、近鉄吉野駅に着く。





沿線風景



**阿彌陀如来坐像 (龍洞院)**  
阿彌陀如来坐像は平安時代後期の作で寄木造、優美な仏像です。(重要文化財・阿智賀)

<b>奈良県コースの所要時間</b>	<b>起点までの最寄駅と所要時間</b>
約2時間20分	近畿日本鉄道 吉野線 「吉野宮駅」
<b>奈良県コースの距離</b>	<b>終点</b>
約7km	近畿日本鉄道 吉野線 「下市口駅」

コースガイド

- 柳の渡し(六田の渡し)跡は、昔吉野川にあった六つの渡し場のうちのひとつ。吉野山に参る人々を舟で渡していた。往時を偲ぶ石燈籠と柳の木は、現在の美吉野橋を渡った対岸(右岸側)にある。左岸側は案内板だけ。
- 下市町瀬ノ上の集落内にある阿智賀瀬ノ上湧水は、「やまとの水3」選に認定された名水。同じ集落内には、「義経千本桜」の登場人物・いがみの権太の墓もある。
- 龍洞院は下市町阿智賀にあり、鎌倉時代の建物。本尊の阿彌陀如来坐像が重文になっている。
- 岡峯古墳は直径18メートルほど円墳で、石室の壁に石棚を設けている。史跡。こからの対岸のめがよい。

下市花の里を  
楽しむみち

沿線風景

ゆったりと流れる吉野川左岸の田園地帯をたどるコース。近鉄吉野宮駅のある橋屋から六田にかけては、昔の吉野への参詣道の両側に発達した集落。現在の美吉野橋のあたりに渡し舟があった。下市町へ入ると阿智賀の集落となり、吉野川筋もやや広く、地形もゆるやかになってくる。阿智賀のあたりは、キクを中心とする花の栽培が盛んで、開花期には色とりどりの草花のカラペットの中を歩くことになる。阿智賀付近から下流には、吉野川の河岸段丘が発達し、2段の段丘の下段上に集落が発達している。千石橋の手前でコースは水辺近くに下り、川の流れを身近に見ることが出来る。千石橋を渡ると、大淀町の中心部・下市の商店街を通過して近鉄下市口駅に至る。

